

静岡県の皆様には東日本大震災により大槌町で発生した災害廃棄物の広域処理をはじめ、様々な形でのご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

震災により発生した、膨大な災害廃棄物の処理について、大きな課題となっておりましたが、貴県をはじめとする広域処理受入自治体のご協力により、可燃物に関しましては処理が完了する目途が立つこととなりました。

この結果は、災害廃棄物の受入をいち早く表明し、多方面にわたり調整していただいた静岡県知事をはじめ、静岡市長、浜松市長、島田市長、裾野市長、富士市長、関係者の皆様のご尽力、ならびに広域処理の受入にご理解、ご協力をいただいた静岡県民の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

残存しております不燃物や津波堆積土などの災害廃棄物についても、環境省が指針としております平成26年3月末までに処理が完了するよう、岩手県の指導の下、努力してまいります。

当町では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による大津波、そして、直後の火災により死者799名、行方不明者が455名と、人口の1割にも及ぶ多くの町民の尊い命が奪われました。

また、多くの家屋が被害を受け、これまで築き、受け継がれてきた、かけがえのない街並み、産業経済基盤、すべてにわたって壊滅的な被害となり、多くの町民が不自由な仮設住宅での生活を強いられている状況であります。

静岡県をはじめとする全国からのご支援をいただきながら、町民一丸となり、復興に向け取組む所存ですので、今後とも格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成25年2月8日

大槌町長 碓川 豊